

令和 8 年 度

八代市議会文教福祉委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 所管事務調査	1
-----------------	---

令和 8 年 5 月 1 8 日（月曜日）

文教福祉委員会会議録

令和8年5月18日 月曜日

午前 9時00分開議

午前11時03分開議（実時間23分）

○本日の会議に付した案件

1. 所管事務調査

- ・教育に関する諸問題の調査
- ・保健・福祉に関する諸問題の調査
（管内調査（八代市千丁健康温泉センターについて））

○本日の会議に出席した者

委員長 山本敬晃君
副委員長 橋本徳一郎君
委員 永江恵子君
委員 野崎伸也君
委員 深田浩介君
委員 堀口晃君
委員 村川清則君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者 君

○説明員等委員（議）員外出席者

健康福祉部

健康福祉政策課長 福田裕之君

○記録担当書記 右田理絵君

（午前9時00分 開会）

○委員長（山本敬晃君） 皆さん、おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）それでは、定刻となり定足数に達しましたので、ただいまから文教福祉委員会を開会い

たします。

◎所管事務調査

・保健・福祉に関する諸問題の調査

（管内調査（八代市千丁健康温泉センターについて））

○委員長（山本敬晃君） 本日は、当委員会の所管事務調査のうち、保健・福祉に関する諸問題の調査に関連し、八代市千丁健康温泉センターについて管内調査を行うこととしております。

それでは、本日の行程につきましては、タブレット端末のレジュメのとおりでございますが、行程等について執行部から説明を求めます。

○健康福祉政策課長（福田裕之君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）健康福祉政策課の福田でございます。よろしくお願いいたします。

本日は委員の皆様には千丁健康温泉センターの現状を直接御確認をいただき、今後の議論をしていただくための判断材料として調査をしていただきたいと思います。

管内調査に先立ちまして、本施設のこれまでの経緯と本日の調査の趣旨について御説明をさせていただきます。

失礼して、着座にて説明をさせていただきます。

○委員長（山本敬晃君） どうぞ。

○健康福祉政策課長（福田裕之君） 本施設の在り方につきましては、これまで施設の維持管理コストや老朽化による安全性の懸念などを踏まえ、廃止の方針とし、先般の3月定例会に八代市千丁健康温泉センター条例を廃止する条例案を上程させていただいた次第です。

その後、住民説明会を開催し、施設存続の声や、委託業者から提示された改修経費と市が廃止の判断材料とした改修経費との間に差が生じていることについて疑問の声が上がり、また議会における審議の過程におきましても、廃止を

判断するための検討材料が十分にそろっていないのではないかといった御指摘をいただきました。

市といたしましても、委員の皆様になんていっても、ただの具体的なデータや検証が不足していたことを重く受け止め、当該廃止案を取り下げ、改めて慎重に調査、検証を行う判断に至っております。

なお、詳細な調査、検証を行うに当たり、調査中の安全を確保するため、6月30日をもって休館し、運営方針の検討を行ってまいります。

それでは、今回の管内調査の対象となっております千丁健康温泉センターの概要を事前にお配りしております資料に沿って御説明をさせていただきます。

1 ページをお願いいたします。

千丁健康温泉センターは平成8年に開館し、現在30年が経過しております。本施設は、市民の健康増進及び福祉の向上を目的に市民の皆様に御利用いただいております、使用料につきましては、表に掲載をしておりますのでございます。

2 ページをお願いいたします。

こちらは、当該施設の2階の平面図となっております。青で塗っている箇所が温泉施設の部分となっております。更衣室や浴室、またサウナや機械室などを見ていただく予定としております。

3 ページをお願いいたします。

こちらは、貯湯タンクやボイラーなどの機械設備が設置をされている3階の平面図となっております。

なお、資料にはございませんが、千丁支所の敷地東側にあります泉源につきましても見ていただく予定としております。

最後に4ページをお願いいたします。

先般、廃止の方針の材料としました千丁健康温泉センターの改修費用に関しまして、本市が算定した金額と委託業者が算定した金額に差が

生じております。

まず、市の積算について御説明いたします。

本市におきましては、施設の長寿命化を基本方針としております。

本市の公共施設におきましては、八代市公共施設等総合管理計画に基づき、施設ごとの個別施設計画を策定し、公共施設マネジメントを行うこととしており、公共施設を建築後70年から80年使用していくためには、その中間時期に当たる30年から40年に大規模改修を行い、施設機能の維持、向上を図り、施設の長寿命化を図ることが必要になります。

当該施設は、現在、開館してその中間時期である30年に当たり、長寿命化を図るべく、大規模改修を実施する改修案及び概算金額を試算したところでございます。

具体的には、目に見える不具合の修繕だけでなく、ボイラーや配管といった基幹設備の更新などを包括的に盛り込んでおります。

なお、委託業者の積算につきましては、今後、内容などについて、調査、検証をすることとしております。

また、改修費用につきましては、下の表に記載しておりますように、大きな開きが見られるところとなっております。

続きまして、本日の管内調査の行程を御説明いたします。お手元の文教福祉委員会行程表を御覧ください。

委員の皆様には、この後、現地へ移動していただきます。到着次第、現地調査になりますが、まずは千丁支所の敷地の東側にあります泉源を見ていただき、その後、温泉センターのほうに御移動いただく形となりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

説明は以上でございます。

○委員長（山本敬晃君） それでは、ただいまの説明について、何か御質問等はありませんか。

○委員（堀口 晃君） 先ほどの委託業者の部

分の見積りの差異、これ、何かあまりにも広過ぎるような気がするんだけど、5億2800万円と2億900万円でしょう。半額以下ですよ。この差異については、執行部はどういうふうにお考えなのか、お聞かせいただきたいと思うんですが。

○健康福祉政策課長（福田裕之君） 委託業者の内容などについては、今後、調査、検証をする必要がございますが、今、市のほうで試算したのが、長寿命化を図るために大規模改修をするという前提で試算した価格になっております。委託業者さんが出されたその2億円ぐらいの金額につきましては、改修の範囲とか内容とかが異なる部分があるのではないかとというふうに考えているところでございますが、今後調査を進めさせていただきたいと思っております。

○委員（堀口 晃君） 分かりました。ありがとうございます。

○委員長（山本敬晃君） ほかにありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山本敬晃君） ないようでしたら、管内調査のため、しばらく休憩いたします。

（午前 9時07分 休憩）

（午前10時47分 開議）

○委員長（山本敬晃君） 休憩前に引き続き文教福祉委員会を再開いたします。

ただいま八代市千丁健康温泉センターについて調査してまいりましたが、質疑、御意見等はありませんか。

○委員（野崎伸也君） 確認なんですけど、開館当時は温泉施設としてのていをなしてたと。まあ温泉としてのていをなしてたというような話があったんですけど、最近がちょっと何か成分的に違ってきてるよってというような話もされたんですけど、そこをもう1回確認したいんですけど、温泉なんですかね。

○健康福祉政策課長（福田裕之君） 野崎委員

がおっしゃるとおり、開館当時は温泉成分を含んだところで、温泉としての要件を満たしていたということなんですけども、平成25年のときに泥水が流入したことによって、ポンプを引き上げて、今現在、1200メートル掘ってある井戸のうち700メートルのところぐらいまでに引上げがされていると。そこで、温泉成分が薄れてるというのもあるかもしれませんが、今現在は、その当時の成分とは変わってはきているとは思いますが、温泉として一旦認められれば、1つでもそういった温泉成分があれば温泉として認められてる状態が継続することみたいですので、成分としては当初よりもかなり温泉成分としては減ってきているものかとは思われます。

○委員（野崎伸也君） じゃあ、例えば、今、700メートルからくんですよというやつを新規ということで登録した場合は、温泉として登録されるんですか。

○健康福祉政策課長（福田裕之君） そこまでは確認ができておりません。申し訳ございません。

○委員（野崎伸也君） そうですか。分かりました。

○委員長（山本敬晃君） ほかにありませんか。

○委員（村川清則君） 住民説明会のときに残してほしいというような声が随分あったんですけども、実際に今日視察して、かなり厳しいなというのが私の考えですけども、あれから利用者が増えたとかあんまり変わらないとか、その辺、分かればお願いいたします。

○健康福祉政策課長（福田裕之君） 住民説明会後ですが、前年と比べて若干伸びはあるというふうには聞いてます。

○委員（村川清則君） 若干というのは。

○健康福祉政策課長（福田裕之君） 正確な数を持ち合わせておりませんが、委託業者のほうから聞いた内容ですと、数は、大幅にで

はないですけども、若干増えているということはお聞きしてます。

○委員長（山本敬晃君） ほかにありませんか。

○委員（橋本徳一郎君） 途中で、管理者のほうで、いろいろ配管だとか施設の基準だとかが大分変わってるみたいなことをお聞きしたんですけど、そういうのって施設の所有者に対する届出ってしなくてもいいような規定になってるんですか。

○健康福祉政策課長（福田裕之君） 本来であれば、いろんな設備の配管を変えたりとか、変えたりする場合は、一応管理者というか、市のほうに届出というか、許可を得てしていただく形が本来の形かと思いますけれども、そこは今までの市の委託の仕方、予算がないというところで、限られた予算の中で、委託業者さんのほうもその範囲内でされてたところもあるかと思っています。そこは市の管理とか、委託業者さんのそういった確認とか、そういったのを怠っていた部分はあるかと思いますが、本来で言えば、市としても、今現在、配管とかそういった配線あたりとかがどういうふうになってるかというのは把握すべきものだったかと思っています。

○委員（橋本徳一郎君） その事前の承認とか事後とか、そういうのはいろいろあるとは思いますが、やっぱりその現状については市が確認、把握しておく必要はあると思うんですよね。

あと、今回見て思ったのが、あそこまでの間に何でああいう、何か途中のメンテナンスだとか、そういったのができなかったのかなというふうに思ったんですけど、そういう話は、そういうのはもともとそういう規定がないからなかったのか、もうそういうふうに予算がなくてっていうことなのか。その辺の理由とかは何か分かりますか。

○健康福祉政策課長（福田裕之君） 一応計画的に改修をしてきたというよりも、不具合が生

じた都度、その部分を改修をしてきたというところが現状、今のようになっているのかなと思っております。

○委員（橋本徳一郎君） その辺の施設管理については、やっぱり計画的な部分が必要でしょうね。意見をお願いします。

○委員長（山本敬晃君） 意見をお願いします。ほかにありませんか。

○委員（堀口 晃君） もう30年が経過をして、すごく老朽化してるというのは目の当たりにさせていただきました。その中で、あれを維持、管理するというのは非常に難しいのかなというのが私の率直な意見です。

また用途変更とかという部分を考えるとなると、いろんな意見を聞かなければならないということがありまして、例えば、住民の皆さん方に、今日私たちが視察した部分、この部分をもう一度、現状、裏のほうまで、これは使えないタンクがあります。ここは今地震が来たときは大変です。源泉から、あれ何百メートルありますかね。3階まで上げてる状況がありますよね。この現状の中において、源泉は二十二、三度ぐらいあったとしても、実際にタンクに入れるときには本当にもう十七、八度ぐらいになってしまふだろうと僕は思うんですね。

そういった現状を踏まえて、もう少し住民の皆さんにもう1回ああいう形で見学会という部分を開くという方法は考えられないかどうか、お聞かせいただきたいと思います。

○健康福祉政策課長（福田裕之君） 今現在、住民の方々にバックヤードとかその辺の見学会というのは考えてはいないところではありますが、御意見いただきましたので、見学会となれば、やはり安全性とか、その辺は市民の方に見ていただくとかかなり安全性を配慮する必要がございますので、その辺を併せて考慮して検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

○委員（堀口 晃君） 実際に私たちは今回見させていただいて、それまでにはいろいろ聞いた話しか分からなかったわけですよ。実際に見てみると、とてもひどい状況だなという部分を感じましたので、これをどういうふうな形で改築していくのか、もしくは廃館にしていくのか、あとは別の用途というふうな部分は考えられないかというような部分を含めて、市民の皆さんにそういう見学会というのをぜひ開催してほしいというふうに思います。

以上です。

○委員長（山本敬晃君） 意見で。

○委員（深田浩介君） さっき野崎委員が言われた源泉のところですね、今、1200メートルから700メートルでくみ上げてるということでしたけど、この最初の予算の5億円ぐらいの中に、途中がもう腐食してるって話だったので、その金額も入ってるのか入ってないのかというのはどうですかね。

○健康福祉政策課長（福田裕之君） 市が試算しました5億2000万円につきましては、今の井戸の吸い上げのポンプの交換費用は入ってますけれども、井戸の掘り直しの費用というのに入っていないところです。といいますのが、あくまでも安全性確保を必要とするというところでの試算をさせていただきましたので、井戸の掘り直しの費用は入ってなくて、吸い上げるポンプの交換費用、そこは耐用年数が交換時期が来ますので、そこは替えるところですが、井戸の掘り直しの費用は入っていないところです。

○委員（深田浩介君） 今後検証をしていかれるということで、そこは今後入れられる予定なのかというのと、もうそのままでポンプだけ替えて、また今後30年と考えた場合に、途中で絶対来ると思うんですけど、さっき言われたように、堀口委員が触られた源泉のぬるさですね。ああいったのが掘り直したときに解消され

るのかと、当初の源泉の温泉成分が出てくるのかも多分分からない状態だと思うんですよね。そこまでしていくのかいかないのかでまた予算とかも変わってくると思うので、そこはどうかと思いますけど。

○健康福祉政策課長（福田裕之君） 井戸の掘り直しの費用につきましては、詳細な調査、電波調査とかすると、温泉が出るとかそういったのが分かる調査があるんですけども、その調査費用だけで、概算見積りしていただいたら、360万円程度かかるというところがございます。

です。ですので、そこは慎重に、一般的に井戸を掘ったら幾らかかるのかというところで判断をするのか、もうそこじゃなくて完全に千丁支所のこの場所で掘り直したら幾らかかるかと、結構費用をかけて、そこまでするかというのは、今後検討させていただければと思っております。

○委員（深田浩介君） それで、最後、さっき視察のときに、あの辺は地下水としては飲めないような話がありましたけど、そこが飲料水として普通は使われるぐらいの深さですね。そういったところで、同じ700メートルのところと同じところであればそんなに掘らなくていいのかなというのも思うんですけど、そこは、使えるとか使えないとか、その井戸の深さですね、それは何かあるんですかね。温泉として使えるとか、飲料水で普通使うところの深さが、もうどうせ飲めない水であれば温泉として同じ水で使えるのかどうかですね。

○健康福祉政策課長（福田裕之君） その専門的なところになると、把握しておりません。申し訳ございません。

○委員（深田浩介君） 大丈夫です。

○委員長（山本敬晃君） ほかに質疑、御意見ありませんか。

○委員（野崎伸也君） 八代市公共施設個別施設計画というのがあると思うんですけども、

これでいけば、温泉センターはどの部類なんですかね。建て替えだったりとか、長寿命化だったりとか、何かいろいろ項目があったと思うんですけども、そういったところでいけばどういった方向性になってますか。

○健康福祉政策課長（福田裕之君） 一応さきに御説明しましたように、市の全体的な公の施設としての改修というのが、長寿命化を図るところで、30年、40年たったときに大規模な改修を行うというのが基本的な考えにあるかと思いますが、千丁健康温泉センターについては、個別に具体的な計画というのはない状態ではございました。

○委員長（山本敬晃君） ほかに。

○委員（堀口 晃君） 今の関連で、計画がないということではなくて、やっぱりそこは、今後どうしていくかということを考えていかないといけないんだろうと思うんですよ。ですから、例えば今の健康温泉センターというふうな部分をどういうふうに使っていくかという個別の部分においても、例えば地域の交流拠点の場所にするんだとか、例えば、今の現状を民間に任せるであったりとか、あと、防災とか福祉に特化した分の転用していくんであったりとか、いろんなそういう選択肢をある程度考え、言うならば解体というところまで含めて、幾つかその選択肢を八代市も持つとく必要があるんだろうと思う。

今後、千丁の部分においては交流拠点の地域にしたいんだと。であるならば、今の部分は温泉はできないにしろ、何か健康に関するような施設を今後考えていくとか、そういった代案を持っていかないと、何も考えてませんということでは駄目だと思うんで、もう少し考慮していただければというふうに思いますので。意見です。よろしくお願いします。

○委員長（山本敬晃君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山本敬晃君） なければ、以上で八代市千丁健康温泉センターについての管内調査を終了いたします。

ほかに当委員会の所管事務調査について何かございませんか。

○委員（堀口 晃君） 実は私こないだ文化協会のところでお話をいただいたんですが、その中で、史談会という会があるんですね。その中のメンバーの方々が、八代市の歴史というふうな部分の中において、史跡巡りをされたいんですね。史跡をたどって行って、何か非常に貴重な史跡があるにもかかわらず、そこには物すごいごみがあるということで、汚いというようなところをおっしゃられて、文教福祉委員会のほうでそういったところを、史跡を見て、こういった貴重なものがあるのに、それは何かというと、海外の観光であったりとか、海外じゃなくて観光なんかに役立てることができるんだという、そんな宝が眠っているのに、そこをごみだらけになってるという状況はいかなものかという、こんなお問合せがあったんですよ。

言うなれば、視察というような状況にあるならば、そういったところを見せていただいて、今後、観光につなげるであったりとか、大切にすることであったりとか、そういったやつをやっぱり検分する必要があるのかなと考えて、その選択の一つとしてやったらどうかなというふうに思っております。

以上です。

○委員長（山本敬晃君） ありがとうございます。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山本敬晃君） なければ、以上で本日の委員会の日程は全部終了いたしました。

これをもって文教福祉委員会を散会いたします。

（午前11時03分 閉会）

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和8年5月18日

文教福祉委員会

委員長